

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成30年12月28日更新

事務事業名	人権・平和教育集会所学習会開催事業					<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	3	教育の健康			所属部	教育委員会事務局	課長名	飯開 輝久雄
	施策	12	人権が尊重される社会づくり			所属課	人権啓発教育課	担当者名	二瀬 義継
	施策の柱	43	人権尊重についての理解と相談体制の充実			所属班	啓発教育班	(内線)	5334
予算科目	会計一般	款10	項5	目4	事業連番10868	根拠法令	成果優先度評価結果 : ⑤ コスト削減優先度評価結果 : ⑨		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 29年度で終了 <input type="checkbox"/> 29年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 40 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	昭和40年頃から部落差別の解消を目的に開始された事業で、運営委員会で各学級ごとに事業計画を作り、学習会を開催していた。現在では少子高齢化も進んでいることから、運営委員会や学習の開催が困難となっている。集会所設立の目的を丁寧に説明し学習会開催を促していくことが必要な時期となっている。
【業務の流れ】	運営委員会へ参加し指導・助言を行う。また、学習会にて講師が必要な場合は、講師を探し講師依頼を行う。講師へ謝金を支出する。学習会にて必要とする用品等の購入を行う。
【主な予算費目】	報償費、需要費、使用料及び賃借料
【意見や要望】	ある地区の公民館長は、住民に参加要請してもなかなか人が集まらず苦悩されている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行った主な活動) (DO) 運営委員会を開き、学習会を開催した。	30年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 運営委員会、学習会を開催する。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 学習会開催回数	回
→ イ: 学習会参加者数	人
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 旧対象地域住民	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) → ア: 旧対象地域住民の数 人 → イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 差別に負けない力をつけることができる。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) → ア: 差別を見抜く力を身につけた人の数 人 → イ:
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠 学習会においてどれだけの人々が差別を見抜く力を身につけられるかが、重要な目的である。学習会への参加を現在よりももう少し多く参加をするよう目標を設定。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	27年度 実績(決算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	29年度 実績(決算)	30年度 目標(当初予算)	31年度 予定	32年度 見込	33年度 見込
① 活動指標	ア 回		4	3	6	0	6	0	0	0
	イ 人		0	26	20	0	60	0	0	0
② 対象指標	ア 人		622	589	600	580	600	600	600	0
	イ									
③ 成果指標	ア 人		16	26	20	0	20	20	20	20
	イ									
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	人件費	一般財源	千円	31	26	80		24		
		(A) 事業費計	千円	31	26	80	0	24	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	2	3	3	1	1	0	0
延べ業務時間	時間	50	70	150	40	0	0	0		
(B) 人件費計	千円	185	0	597	158	0	0	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	216	26	677	158	24	0	0		

事務事業名	人権・同和教育集会所学習会開催事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	人権啓発教育課
-------	-------------------	-----	----------	-----	---------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は29年度の事後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 集会所においての学習会の開催が出来なかった。
	②30年度目標達成見込み	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 地域において、学習会を開催してもなかなか人が集まらない。地域の清掃活動の時など区民が集まるときに併せ学習会を開催する等の工夫が必要である。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 学習内容を検討する事によって、参加者の増を目指す。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はほかにない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 学習会開催自体が出来てないため次年度から予算計上を取りやめる
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 学習会自体ができない状況にあり、次年度より予算要求を行わない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 差別がない明るい社会をめざすためには、学習をする機会の提供は、必要であるため費用負担は公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 差別をなくす取組は行政の責務であり役割分担は適正である。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

学習会への参加者を確保するのは、現在非常にむずかしい状況である。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>現在の状況においては、学習会開催は困難な状況にあるが、今後とも学習会開催を区等に呼びかけていく必要がある。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						